

# スムシ対策（駆除）

スムシ（ハチノスツヅリ蛾）による被害実態とその対策

20220720 望月建彦

## 【目的】

スムシ（ブドウ虫）とはハチノスツヅリ蛾（みつばち蛾で5種類が知られる）の幼虫で春から秋に蛾が毎晩、巣箱内外に数百の卵を生む。

その幼虫（ウジ虫）は、巣や蜜やみつばちの幼虫を食べ成長し巣箱に穴を開ける。

スムシの発生が多いとみつばちは巣を捨て脱走する。その為ハチノスツヅリ蛾やスムシの駆除が必要です。

# スムシ対策

- ①巢内を良く点検し落下巢、巢カスを清掃する。(夏場は月2回清掃する。)
- ②毎晩、蛾が卵を生みに来るので住宅地では電撃殺虫器(誘蛾灯)で駆除する。
- ③BTセルタンB401も、幼齡スムシ駆除に効果大きい。同様スムシツ子カードも効果あり

ハチノスツヅリ蛾



スムシ



まゆ(さなぎ)



1ヶ月～3ヶ月(温度が高いと成長が早い)後に繭を作って蛹になる。

## ③セルタンB401の使用法

- B401原液を20～40倍溶液に希釈し使用する。
- 霧吹きスプレーで**巣箱内巣カスが貯まるコーナーの部**に散布する。
- 月1回3～12月噴霧すると効果は絶大です
- 新巣箱作成時にB401でむらなく噴霧すると素材をスムシに食われたい
- 月一回は内部の様子を観察してください。
- 重箱段積み部の隙間に吹き付けるのもよい

### 【保管上の注意】

- 開封したB401原液や希釈液は冷蔵庫に保管する。
- 常温保管は腐敗し悪臭で人も蜂も逃げる(忌嫌剤使用が可能です)

# 重箱での噴霧使用例



スムッ子カード

巣カスが溜まる場所

B401希釈液を巣カスや隙間に噴霧する

セルタンB401を20～40倍に希釈し巣門を開き内部の巣カスが溜まるコーナーや隙間部に月一回スプレ-噴霧すると効果的です。又はスムッ子カード(花粉にB401を付けたメッシュ板)を内部に置く